

レイモンド淡海保育園 評価結果報告書

【共通評価基準】

I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている		評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)
1	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 理念、基本方針が文書(事業計画等の法人(保育所)内の文書や広報誌、パンフレット、ホームページ等)に記載されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 理念は、法人(保育所)が実施する保育の内容や特性を踏まえた法人(保育所)の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。
	法人で統一された理念・方針は園のホームページに記載している。法人が編集した冊子を全職員に配り、職員会議で唱和している。独自に淡海のしおりを作成し、入園説明会で保護者に説明し周知している。保育方針・目標についても、園だよりで説明している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、保護者等への周知が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 理念や基本方針を保護者会等で資料をもとに説明している。(保育所)

I-2 経営状況の把握

I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)
2	① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。
	法人による毎年の内部監査があり、経営状況の点検がなされている。本部よりの分析データなどを参考に園長を中心に計画を立てている。社福協議会等県・市レベルの会議に参加し情報交換・分析を行っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもの数・利用者(子ども・保護者)像等、保育のニーズ、潜在的利用者に関するデータを収集するなど、法人(保育所)が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析して
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 定期的に保育のコスト分析や保育所利用者の推移、利用率等の分析を行っている。
3	② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 経営環境や保育の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 経営状況や改善すべき課題について、役員(理事・監事等)間での共有がなされている。
	本部に相談し、その支援を得て対応力を高めてきている。当園学区の新園開園での保育士の確保・園児確保が難しくなっていることは事実である。採用計画の下、ホームページや採用業者にも依頼している。レイモンド淡海の特徴を生かした努力を期待したい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。

I-3 事業計画の策定

I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)
4	① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	c	<input type="checkbox"/>	ア 中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。
	中・長期計画が作成されていない。経営環境の把握・分析をもとに理念や基本方針を具体化する2~5年の計画を文書化することを希望する。		<input type="checkbox"/>	ウ 中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。
			<input type="checkbox"/>	エ 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。
5	② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	c	<input type="checkbox"/>	ア 単年度の計画には、中・長期計画の内容を反映した単年度における事業内容が具体的に示されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 単年度の事業計画は、実行可能な具体的な内容となっている。
	単年度計画は、前年度の評価見直し、改善策も加えて新年度計画及び予算案を職員の協力の下、本部の助言も受け作成している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)
6	① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。
	月毎及び上半期で見直し、下半期の月毎見直しを経て年度末決算に至る。保育事業では、日案、週案、月案、上半期、年度末での見直し等自己評価を得て、次年度案作成に入っている。見直し自己評価についての共通理解を図って欲しい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 事業計画が、職員に周知(会議や研修会における説明等)がされており、理解を促すための取組を行っている。

7	② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	事業計画の主な内容が、保護者等に周知(配布、掲示、説明等)されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	事業計画の主な内容を保護者会等で説明している。
	事業計画は文書化し職員に周知徹底している。保護者向けの周知・説明には3月に文書で保護者に配布し、アプリも活用している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成する方法によって、保護者等がより理解しやすい工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	事業計画については、保護者等の参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>		評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)
8	① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	組織的にPDCAサイクルにもとづく保育の質の向上に関する取組を実施している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育の内容について組織的に評価(C:Check)を行う体制が整備されている。
	11月に保育環境スケールの測定を実施している。日案、週案、月案の作成は、PDCAを回す作業であり、乳児会議、幼児会議(月1回開催)で対応策を検討し、必要な場合は職員会議に報告し、全職員の共通認識となる。環境スケールの改善結果は1年後ホームページに公表する。5年に一度、第三者評価調査を受審することを基本とし、保育の質向上に努力している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	評価結果を分析・検討する場が、組織として位置づけられ実行されている。
9	② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	職員間で課題の共有化が図られている。
	ヒヤリハット対応、登降園時の保護者へのメッセージ引継ぎ、保護者アンケートに基づく満足度の引き上げ方策など、各年度ごとに各課題に取り組み、成果を挙げてきている。コロナ対策の結果、十分な時間が取れていないが、今後も同様の活動継続による改善を期待したい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。

II 組織の運営管理

II-1 管理者の責任とリーダーシップ

II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>		評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)
10	① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	施設長は、自らの保育所の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ	施設長は、自らの役割と責任について、保育所内の広報誌等に掲載し表明している。
	運営管理規程に役割責任と権限委譲を明記している。園長は本年度の事業計画書を作成し方針や取組を明記している。期初始めに組織図の作成と園長の役割を広報紙等で知らせたい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	平常時のみならず、有事(災害、事故等)における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。
11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者(取引事業者、行政関係者等)との適正な関係を保持している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。
	就業規則で権利義務を明確にしている。本部園長研修や施設長研修に参加し、職員に周知している。大津市園長会に参加し見聞を広げている。法令・通達や規則等の変更時は職員に会議等で周知を望みたい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。
II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>		評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)
12	① 保育の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	施設長は、保育の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	施設長は、保育の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。
	園に着任して、初年度であるが、毎月の職員会議の冒頭に園長の思いを職員に伝えている。年間・月間・週日案指導計画を通して主任と共に保育の現状把握と指導に努めている。毎朝、園児と保護者への挨拶を率先垂範し、明るい保育園の構築に努めているが、より一層保護者とのコミュニケーションを深めて欲しい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	施設長は、保育の質の向上について組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	施設長は、保育の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	施設長は、保育の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。

13	② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	施設長は、組織の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。
	2020年度事業計画書を作成し、施設の課題を保育面・人材面・運営面・財務面から分析している。目標と重点取組内容を定め、計画に対して中間見直しを行っている。職員に対して職員会議で進捗状況の随時報告を望みたい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、組織内に同様の意識を形成するための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。

II-2 福祉人材の確保・育成

II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育の提供に関わる専門職の配置、活用等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。
	ホームページ上で、保育人材の募集確保に努めている。実習生の受け入れを通して、園の良き点を理解し、就職先としてレイモンド淡海保育園を選択してもらえる機会作りをしている。しかし、人材確保が困難な状況は続いている。		<input type="checkbox"/>	ウ	計画にもとづいた人材の確保や育成が実施されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	法人(保育所)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。
15	② 総合的な人事管理が行われている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	法人(保育所)の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像」を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ	人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に周知されている。
	職員が作成した目標カードに基づき、年2回園長との個別懇談があり、職務の成果を評価している。職員の将来の姿は意向調査票にて把握しキャリアアップに努めている。保育に関する人事管理規程(人事基準)の整備を望みたい。個人毎の職歴・資格・研修受講経歴等をまとめた人事管理ファイルの作成が望まれる。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。
			<input type="checkbox"/>	エ	職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	職員が、自ら将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みづくりができている。
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	職員の就業状況や意向の把握等にもとづき労務管理に関する責任体制を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。
	日々は「JOB管理システム」により労務管理を行ない、就業時間、有給休暇の取得、休暇等の管理を行っている。目標カードや意向調査票に基づき園長との個別面談を通して、職員の希望・思いを聴取し、働きやすい環境作りに反映している。本年度は新しい園長の着任、新人8名の採用を行い、人員体制の充実・確保に努めているが、希望通りの職員数には至っていない。今後とも保育園の新しい風土づくりに努めてほしい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の悩み相談窓口を組織内に設置するなど、職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	改善策については、福祉人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。
			<input type="checkbox"/>	ク	福祉人材の確保、定着の観点から、組織の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	組織として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	個別面接を行う等保育所の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標が設定されている。
	法人統一目標・施設共通目標と個別に個人の役割目標を定め、保育意識の向上に努めている。年2回の定期的な個人面談にて目標カードをベースに話し合いをもち、個人の役割目標と達成度合いをお互いに評価し合っている。本人のタレント(才能・素質)を伸ばすことを中心に前進させてほしい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	職員一人ひとりの目標の設定は、目標項目、目標水準、目標期限が明確にされた適切なものとなっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末(期末)面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。
18	② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	保育所が目指す保育を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	現在実施している保育の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、保育所が職員に必要なとされる専門技術や専門資格を明示している。
	就業規則、保育園の全体的な計画で職員の資質向上の取組みを定め、研修の目的や意義を述べている。階層毎・職種・経験年数に応じた受講研修テーマを策定している。研修記録を作成し、テーマにより受講内容を職員に報告している。受講テーマの定期的見直しや研修受講予定のスケジュール作成を望みたい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。
			<input type="checkbox"/>	エ	定期的に計画の評価と見直しを行っている。
			<input type="checkbox"/>	オ	定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。

19	③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。
	年2回の職員との個別懇談があり、技能などの把握に努めている。職位階層に応じた研修を実施し、研修報告に纏めている。今年度は新人の就任があり、重点的に研修の場に参加出来るように努めている。教育研修を通して職員の保育技量の向上と標準化に努めて欲しい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)	
20	① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成に関する基本姿勢を明文化している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成についてのマニュアルが整備されている。
	保育教育実習受入プログラムがあり、実習担当者の役割も明記している。実習プログラムは依頼先である大学で作成し、園長が確認し認可となっている。実習指導を通して保育園の良き所をアピールし、人材確保の一助として欲しい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。
			<input type="checkbox"/>	エ	指導者に対する研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。

II-3 運営の透明性の確保

II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)	
21	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	ホームページ等の活用により、法人、保育所の理念や基本方針、保育の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育所における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公表している。
	ホームページ・入園のしおり等で理念や方針を示し、活動内容はブログで適宜発表している。檸檬会の定款に基づき毎年、決算書や現況報告書を作成し、理事会の承認を得て、ホームページに公開している。5か年に1回のサイクルで第三者評価調査受審を行っている。地域の自治会に園便りを配布し、行事や各種支援事業の内容を積極的に知らせたい。		<input type="checkbox"/>	ウ	第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公表している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	法人(保育所)の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人(保育所)の存在意義や役割を明確にするように努めている。
			<input type="checkbox"/>	オ	地域へ向けて、理念や基本方針、事業所で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。
22	② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	保育所における事務、経理、取引等に関するルールが明確にされ、職員等に周知している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育所における事務、経理、取引等に関する職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。
	園長が日常、会計・経理等を主体的に扱っている。経理規定に基づき、年度毎の決算報告書を作成し、檸檬会の会計監査を受けている。檸檬会よりサービスに関わる内部監査を受け指摘事項に対して職員会議で報告している。福祉法人として大津市の監査を受けている。内部監査指摘事項について重点項目の改善と改善計画の作成を期待したい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保育所における事務、経理、取引等について、必要に応じて外部の専門家に相談し、助言を得ている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育所における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	外部監査の活用等により、事業、財務に関する外部の専門家によるチェックを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	外部監査の結果や公認会計士等による指導や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。

II-4 地域との交流、地域貢献

II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)	
23	① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ	活用できる社会資源や地域の情報を収集し、掲示板の利用等で保護者に提供している。
	地域との関わりを年間計画に上げ、近隣の児童養護施設(2~3歳児)と当園4歳児が年間7~8回交流を通して一緒に遊ぶ事を楽しんでいてコロナ禍で中止となっている。収束時には継続を期待したい。園の前にある公園を子育て中の地域の人は園の持ち物と考え使用を躊躇されている事を知り、行政に働きかけ整備を依頼すると共に地域に知らせて貰った。地域への働きかけの窓口として活用を期待したい。		<input type="checkbox"/>	ウ	子どもの個別的状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育所や子どもへの理解を得るために、地域の人々と子どもとの交流の機会を定期的に設けるなどの取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	個々の子ども・保護者のニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。
24	② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化している。
	年度初めに行政より多岐にわたるアンケートにて依頼が来るが、ボランティア受け入れの意思表示をしている。地域の高齢者付き添いで散歩に出かけたり、ハーブ演奏に来てもらったことがあるが、今年度はコロナ禍のため中止している。ボランティア保険に加入し、不測の事態に備えている。受け入れに当たり、手順、事前説明、基本方針を明記したマニュアルの整備を期待したい。		<input type="checkbox"/>	ウ	ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している。
			<input type="checkbox"/>	エ	ボランティアに対して子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	学校教育への協力を行っている。

II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)
25	① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 当該地域の関係機関・団体について、個々の子ども・保護者の状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。
	校園連絡会議にて職場体験の相談や、保幼小中の先生が集まり、ボランティア受け入れ、今の現状、コロナ禍、今後の事など情報を共有し話し合う機会を設けている。園で整備しているプレイルームがあり、必要時養護施設に活用を促している。現在気に掛かる子ども達については、日々の登園時の親子の様子を注意深く見守り、職員間で状況を共有している。関係機関との連携を継続し、今後の社会情勢も厳しさを増してくるの現在の姿勢継続を期待したい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。
			<input type="checkbox"/>	エ 地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。
			<input type="checkbox"/>	オ 地域に適切な関係機関・団体がない場合には、子ども・保護者のアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 家庭での虐待等権利侵害が疑われる子どもへの対応について、要保護児童対策地域協議会への参画、児童相談所など関係機関との連携が図られている。(保育所)
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)
26	① 保育所が有する機能を地域に還元している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育所のスペースを活用して地域の保護者や子ども等との交流を意図した取組を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 保育所の専門性や特性を活かし、地域の保護者や子ども等の生活に役立つ講演会や研修会等を開催して、地域へ参加を呼びかけている。
	核家族が増えている中、育児に不安を抱えている地域未就園児家族の為に、子育て支援として毎月1回「レモンひろば」を開催し、前の公園や園内での遊びを楽しんで貰っている。コロナ禍で中止となっているが収束時は継続を期待したい。地域で必要な時はプレイルームの活用も伝えている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保育所の専門性や特性を活かした相談支援事業、子育て支援サークルへの支援等、地域ニーズに応じ地域の保護者や子ども等が自由に参加できる多様な支援活動を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 災害時の地域における役割等について確認がなされている。
			<input type="checkbox"/>	オ 多様な機関等と連携して、社会福祉分野に限らず地域の活性化やまちづくりに貢献している。
27	② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育所の機能を地域に還元することなどを通じて、地域の福祉ニーズの把握に努めている。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 民生委員・児童委員等と定期的な会議を開催するなどによって、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。
	地域担当者がエリアネットワーク会議に参加し、ニーズ把握に努めている。新生児全戸訪問を実施、0～1歳児には看護師、主任が訪問、1～2歳児には主任と保育士が訪問し困り事などの相談に乗っていた。現在はコロナ禍もあり中止しているが収束後は継続していく方向である。地域、警察、職員参加の下、交通安全教室を実施した。昨年は不幸な交通事故を経験し、全国的にも危険な道路環境改善に貢献することとなった。びわこ一斉清掃活動に、園長や職員が参加している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 地域住民に対する相談事業を実施するなどを通じて、多様な相談に応じる機能を有している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 関係機関・団体との連携にもとづき、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 把握した福祉ニーズにもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。
			<input type="checkbox"/>	カ 把握した福祉ニーズにもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。

III 適切な福祉サービスの実施

III-1 利用者本位の福祉サービス

III-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)
28	① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 理念や基本方針に、子どもを尊重した保育の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもを尊重した保育の提供に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。
	こども一人ひとりを尊重した理念、保育の基本方針に基づき個々を大切に保育を行っている。子ども、保護者、保育士と一緒にCAP組織と連携し研修に参加している。研修後の報告、復命を基本とし職員には必ず還元している。業務マニュアルに「人権に配慮した保育」を作成、「レモンのこころ」「レモンの保育」を月1回の職員会議で復唱、読み合わせを行い子どもを尊重した保育について理解し実践している。養護施設(2～3歳児)との交流は、4歳児の子がお兄さん、お姉さんになったつもりで「してあげたい」「教えてあげたい」と言う気持ちになって関わりを持っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもを尊重した保育に関する基本姿勢が、保育の標準的な実施方法等に反映されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、組織で勉強会・研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 子どもが互いを尊重する心を育てるための具体的な取組を行っている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 性差への先入観による固定的な対応をしないように配慮している。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク 子どもの人権、文化の違い、互いに尊重する心について、その方針等を保護者に示すとともに、保護者も理解を図る取組を行っている。(保育所)

29	② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	子どものプライバシー保護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもの虐待防止等の権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。
	保育業務マニュアルを整備し、その中には子どもの尊重・プライバシーの保護や権利擁護に関わる姿勢を明記している。重要部分は「保育の基本編」「レモンのこころ」と言う冊子にして全職員に配布し、月1回の会議では全員で唱和している。プライバシー保護に関しては、着替え時、排泄時は柵や衝立で仕切り、他から見えない配慮がある。不適切と感じた時は、ぎすぎすした雰囲気ではなく軽いノリで注意し合っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どものプライバシー保護と虐待防止に関する知識、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務、利用者のプライバシー保護や権利擁護に関する規程・マニュアル等について、職員に研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	一人ひとりの子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、子どものプライバシーを守れるよう設備等の工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	子ども・保護者にプライバシー保護と権利擁護に関する取組を周知している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	規程・マニュアル等にもとづいた保育が実施されている。
			<input type="checkbox"/>	キ	不適切な事案が発生した場合の対応方法等が明示されている。
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点（該当する場合は口）にチェック）	
30	① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	理念や基本方針、保育の内容や保育所の特性等を紹介した資料を、公共施設等の多くの人が入手できる場所に置いている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育所を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。
	ホームページに詳細を載せており、園見学者には個別に対応している。コロナ禍で中に入って貰えず、玄関先ではあるが冊子を基に分かりやすく説明している。行政窓口にも冊子を置いている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保育所の利用希望者については、個別に丁寧な説明を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	見学等の希望に対応している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	利用希望者に対する情報提供について、適宜見直しを実施している。
31	② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	保育の開始及び保育内容の変更時の説明と同意にあたっては、保護者等の意向に配慮している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育の開始・変更時には、保護者等がわかりやすいように工夫した資料を用いて説明している。
	保育の開始時入園のしおりを用いて説明し、契約書において同意を得ている。外国の方等コミュニケーションの困難な保護者には紙に書いて分かりやすい言葉等で説明をしている。写真、図、絵の使用等で誰にでも分かる工夫を望みたい。		<input type="checkbox"/>	ウ	説明にあたっては、保護者等が理解しやすいような工夫や配慮を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育の開始・変更時には、保護者等の同意を得たうえでその内容を書面で残している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	特に配慮が必要な保護者への説明についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。
32	③ 保育所等の変更や家庭への移行等にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	保育所等の変更にあたり、保育の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育所の利用が終了した後も、保育所として子どもや保護者等が相談できるように担当者や窓口を設置している。
	園での様子等記載した引継ぎ文書を作成している。保育所の利用終了後も相談できる体制を取っていることを保護者に周知してほしい。		<input type="checkbox"/>	ウ	保育所の利用が終了した時に、子どもや保護者等に対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上向上に努めている。		評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点（該当する場合は口）にチェック）	
33	① 子どもの満足の上向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	日々の保育のなかで、子どもの満足度を把握するように努めている。(保育所)
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保護者に対し、利用者満足に関する調査が定期的に行われている。(保育所)
	行事後のアンケートや年度末のアンケート等によって意見を把握し、園長、主任、関係職員で分析・検討して、保育の振り返り、行事のあり方等改善に取り組んでいる。コロナ禍において保護者懇談会は中止となっているが、個別懇談等の聞き取りにより利用者の満足度を把握し、保育の改善に努めてもらいたい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保護者への個別の相談面接や聴取、保護者懇談会が、利用者満足度を把握する目的で定期的に行われている。(保育所)
			<input type="checkbox"/>	エ	職員等が、利用者満足度を把握する目的で、保護者会等に出席している。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	利用者満足に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、検討会議の設置等が行われている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。(保育所)

Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)
34	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を保護者等に配布し説明している。
	入園のしおりに、苦情解決の仕組みを明記している。受付担当はクラス担任、相談解決責任者は園長、第三者委員には瀬田東学区社協会長と瀬田北学区社協会長、滋賀県運営適正化委員会が構成している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、保護者等が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。
	苦情・相談内容及び対応策は保護者に伝えるとともに記録をして全職員が周知している。		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 苦情内容については、受付と解決を図った記録が適切に保管している。
	玄関に「苦情解決の仕組み」を掲示しているが見えにくく分かりにくい為、保護者に分かりやすく目につくような対応を望みたい。		<input checked="" type="checkbox"/>	オ 苦情内容に関する検討内容や対応策については、保護者等に必ずフィードバックしている。
			<input type="checkbox"/>	カ 苦情内容及び解決結果等は、苦情を申し出た保護者等に配慮したうえで、公表している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 苦情相談内容にもとづき、保育の質の向上に関わる取組が行われている。
35	② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保護者が相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 保護者等に、その文章の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。
	相談する部屋はあるが、保護者に場所が分かりやすく周知出来るように取り組んでもらいたい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 相談しやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。
36	③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。
	1歳児・2歳児は連絡帳、3歳児はメモ帳を利用して相談等に応じている。送迎時の声かけ等コミュニケーションを図り、意見箱設置やネット対応も行い要望や意見を述べやすい対応をしている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 職員は、日々の保育の提供において、保護者が相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。
	相談や意見に対しては、クラス担任、園長、職員会議で検討し解決策を決め全職員で共有している。相談や要望を受けた際の対応マニュアルの整備に取り組み、保育の質の向上に努めてほしい。		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 意見箱の設置、アンケートの実施等、保護者の意見を積極的に把握する取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 意見等にもとづき、保育の質の向上に関わる取組が行われている。
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)
37	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア リスクマネジメントに関する責任者の明確化(リスクマネージャーの選任・配置)、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、職員に周知している。
	園長をリスクマネージャーとして責任者を明確にしている。ヒヤリハット会議を毎週木曜日に行い、ヒヤリハット事故報告の共有、分析、改善策の検討を行っている。安全点検・衛生管理チェック表をもとに基本点検を毎日実施している。防犯カメラも設置している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。
	5月をとくに救急訓練月間として、園外での怪我等を想定した初動訓練(事故発生からの流れ、対応策)を実施している。		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。
38	② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し、職員に周知徹底している。
	感染症対応マニュアルを作成し看護師が中心となり、嘔吐処理方法等職員対象に感染症に関する勉強会を行っている。保健だよりを毎月発行し季節に応じた疾患に関する情報を保護者に提供している。現在「新型コロナウイルス対策マニュアル」に基づいて、職員・幼児クラスの子供たちは食事以外時のマスク着用、手洗い、室内の換気を実施している。登園時の検温、保護者の送迎は玄関で行い感染拡大防止に努めている。地域の看護師会議をウェブで月に1回行っており、感染状況に応じて対応マニュアルの都度見直しを行っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 担当者等を中心にして、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 感染症の予防策が適切に講じられている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 感染症の発生した場合には対応が適切に行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を定期的に見直ししている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 保護者への情報提供が適切になされている。(保育所)
39	③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 災害時の対応体制が決められている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 立地条件等から災害の影響を把握し、建物・設備類、保育を継続するために必要な対策を講じている。
	避難訓練年間計画を立て、毎月災害を想定した訓練を実施し記録・反省を行っている。9月の保護者への引き渡し訓練では44名の参加があり、スムーズな対応が出来ている。災害時にはメールで保護者に一斉に通知することになっている。緊急連絡網を園長室及び各クラス連絡帳に記載し全職員が周知徹底している。食料・備蓄は園長・栄養士が管理し3日分を確保してい		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子ども、保護者及び職員の安否確認の方法が決められ、すべての職員に周知されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 防災計画等整備し、地元の行政をはじめ、消防署、警察、自治会、福祉関係団体等と連携するなど、体制をもって訓練を実施している。

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		評価結果	☑	評価の着眼点 (該当する場合は口)にチェック)
40	① 保育について標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	a	☑	標準的な実施方法が適切に文書化されている。
	判断した理由・特記事項等		☑	標準的な実施方法には、子どもの尊重、プライバシーの保護や権利擁護に関わる姿勢が明示されている。
	保育業務マニュアルを整備し、その中には標準的保育の実施方法(登降園・食事・排泄・遊び・散歩)などの手順を文書化し、子どもの尊重・プライバシーの保護や権利擁護に関わる姿勢を明記している。法人の保育理念・方針・保育内容を纏めた冊子(レモンのこころ・保育)を全職員に配布し、職員会議で適宜読み合わせをし、保育の質向上に努めている。		☑	標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。
			☑	標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。
			☑	標準的な実施方法により、保育実践が画一的なものとなっていない。(保育所)
41	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a	☑	保育の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が組織で定められている。
	判断した理由・特記事項等		☑	保育の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的に行われている。
	日々の保育業務をクラス会議、幼児・乳児会議で検討・実践・反省を繰り返し、保育業務マニュアルの改訂版として差し替えている。定期的に園長・主任・職員で環境保育スケールを測り、指導計画に反映している。		☑	検証・見直しにあたり、指導計画の内容が必要に応じて反映されている。
			☑	検証・見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		評価結果	☑	評価の着眼点 (該当する場合は口)にチェック)
42	① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	a	☑	指導計画策定の責任者を設置している。
	判断した理由・特記事項等		☑	アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。
	指導計画策定の責任者を主任とし、子どもの発達状況や生活状況を把握し、保育経過記録・児童票を各担任保育士が記入後、クラスリーダー→主任→園長の手順で最終確認を行っている。一人ひとりに寄り添った保育に取り組み、必要に応じて看護師・栄養士等の意見を聞き、定期的な近隣ブロック園長会で、互いの課題検討・改善を行い全体的指導計画に反映させている。配慮が必要な子へのケースでは市の巡回訪問や関係機関等の助言を受けケース会議で検討し個別指導計画につなげている。		☑	さまざまな職種の関係職員、必要に応じて保育所以外の関係者が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。
			☑	全体的な計画にもとづき、指導計画が策定されている。(保育所)
			☑	子どもと保護者等の具体的なニーズ等が、個別の指導計画等に明示されている。(保育所)
			☑	計画の策定にあたり、さまざまな職種の関係職員、必要に応じて保育所以外の関係者が参加しての合議、保護者の意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。(保育所)
			☑	指導計画にもとづく保育実践について、振り返りや評価を行う仕組みが構築され、機能している。(保育所)
			☑	支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な保育の提供が行われている。(保育所)
43	② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a	☑	指導計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、保護者の意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。
	判断した理由・特記事項等		☑	見直しによって変更した指導計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。
	業務日誌による日々の評価・反省に基づいて、週日案に反映させ、週案・月案を評価・反省し次月につなげている。年間指導計画は乳児期から就学前までに別け、目標・ねらいを設定し、年度末に検討・見直し次年度につなげている。		☑	指導計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。
			☑	指導計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、子ども・保護者のニーズ等に対する保育・支援が十分ではない状況等、保育の質の向上に関わる課題等が明確にされている。
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		評価結果	☑	評価の着眼点 (該当する場合は口)にチェック)
44	① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a	☑	子どもの発達状況や生活状況等を、保育所が定めた統一した様式によって把握し記録している。
	判断した理由・特記事項等		☑	個別の指導計画等にもとづく保育が実施されていることを記録により確認することができる。
	子どもの発達の姿や生活状況の記録は個別月案、幼児は3か月毎に児童票に記録しクラスリーダー・主任・園長で確認している。毎月、乳児・幼児会議、職員会議で意見・提案を出し合い職員間の共通理解の場としている。		☑	記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。
			☑	保育所における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。
			☑	情報共有を目的とした会議の定期的な開催等の取組がなされている。
45	② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a	☑	個人情報保護規程等により、子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。
	判断した理由・特記事項等		☑	個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。
	就業規則に個人情報管理規程・取り扱い規程の遵守を明記している。個人情報は児童票に集約し全職員が管理に周知徹底している。記録管理の責任者を園長とし鍵の掛かるキャビネットに保管し、電子データは園長のパソコン内で、規程に従い文書は5年または永久保存としている。新人研修・内部研修を行い記録の管理を遵守徹底し、保護者には入園、進級時に写真の掲載など取り扱いを説明し同意書を得ている。		☑	記録管理の責任者が設置されている。
			☑	記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。
			☑	職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。
			☑	個人情報の取扱いについて、保護者等に説明している。

レイモンド淡海保育園 評価結果報告書

【内容評価基準】

A-1-(1) 保育課程の編成		評価結果	☑	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)
1	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を編成している。	b	☑	ア 全体的な計画は、児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとらえて編成している。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 全体的な計画は、保育所の理念、保育の方針や目標に基づいて編成している。
	本部法人の保育園の理念及び保育目標に基づき、リーダーを中心に定期的な見直しと評価を積み重ねて、園としての計画を編成している。担当職員同士で子どもの家庭環境や毎日の姿なども考慮している。		☑	ウ 全体的な計画は、子どもの発達過程、子どもと家庭の状況や保育時間、地域の実態などを考慮して編成している。
			☑	エ 全体的な計画は、保育に関わる職員が参画して編成している。
			☑	オ 全体的な計画は、定期的に評価を行い、次の編成に生かしている。
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		評価結果	☑	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)
2	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	b	☑	ア 室内の温度、湿度、換気、採光、音などの環境は、常に適切な状態に保持している。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 保育所内外の設備・用具や寝具の衛生管理に努めている。
	室内は明るく、加湿空気清浄機を設置している。トイレは各室内から直接利用でき段差がなく利用しやすい。保育環境評価スケールで年に1~2回4名の職員でチェックを行い環境を整備している。クラス毎に棚等で発達状態に応じたコーナーを設けてキッチン、絵本、ブロック等子どもたちが自分で好きな遊びを選べる環境を整えている。園庭の代わりに、2階に遊戯室を整備してボルタリングも設置して運動遊びもできる充実した環境となっている。昼食時食事を楽しむ雰囲気づくりの工夫を期待		☑	ウ 家具や遊具の素材・配置等の工夫をしている。
			☑	エ 一人ひとりの子どもが、くつろいだり、落ち着ける場所がある。
			☑	オ 食事や睡眠のための心地よい生活空間が確保されている。
			☑	カ 手洗い場・トイレは、明るく清潔で、子どもが利用しやすい設備を整え、安全への工夫がされている。
3	② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a	☑	ア 子どもの発達と発達過程、家庭環境等から生じる一人ひとりの子どもの個人差を十分に把握し、尊重している。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 子どもが安心して自分の気持ちを表現できるように配慮し、対応している。
	乳児は育児担当保育で子ども一人ひとりの思いや感情を受け止めながら応答的に関わっている。幼児は子どもの自主性を大切にしたコーナー保育(子どもが自分で遊びを選べる環境を作っている)や異年齢保育に取り組んでいる。配慮を要する子どもも、他の子どもと一緒に活動し一人遊びの時も他の子どもが声掛けて、いつでも他の子どもたちの様子が見られるよう配慮して共に育つ保育に努めている。		☑	ウ 自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちをくみとろうとしている。
			☑	エ 子どもの欲求を受けとめ、子どもの気持ちにそって適切に対応している。
			☑	オ 子どもに分かりやすい言葉づかいで、おだやかに話している。
			☑	カ せかす言葉や制止させる言葉を不必要に用いないようにしている。
4	③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることのできる環境の整備、援助を行っている。	a	☑	ア 一人ひとりの子どもの発達に合わせて、生活に必要な基本的な生活習慣を身につけられるよう配慮している。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 基本的な生活習慣の習得にあたっては、子どもが自分でやろうとする気持ちを尊重して援助を行っている。
	愛着関係を築く事を大切にされた保育を行っている。生活習慣獲得は同じ保育士が同じ場所・手順で、動作には言葉を添えて援助している。トイレ前の棚からおむつを取り出し保育士に渡している。子どもの足元におむつを広げ「あんよは」の声掛けに子はゆっくり足を通し、終わると保育士に手を差し出し立ち上がった。「できたね」ニコッと笑顔が出ている。		☑	ウ 基本的な生活習慣の習得にあたっては、強制することなく、一人ひとりの子どもの主体性を尊重している。
			☑	エ 一人ひとりの子どもの状態に応じて、活動と休息のバランスが保たれるように工夫している。
			☑	オ 基本的な生活習慣を身につけることの大切さについて、子どもが理解できるように働きかけている。
5	④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a	☑	ア 子どもが自主的・自発的に生活と遊びができる環境を整備している。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 子どもが自発性を発揮できるよう援助している。
	幼児組はコーナー保育を週2回実施し、異年齢保育も取り入れられている。クラスリーダーが「運動・自然・工作」についてどの様なコーナーを展開していくか週1回話し合っている。遊びや動的活動、静的活動ができるよう棚や衝立で区切ったスペースを作り整備している。それぞれが興味を持った事、やりたい事を自分で決め参加している。横のコーナーを見て「あんな事が出来るんだ、自分もやりたかったな。次はあれに参加してみよう」と子どもが想像し考える、つながり保育へと展開している工夫が素晴らしい。又、プレイルームを整備し、一斉ではなく主体的に生活や遊びが進められる環境作りをしている。4歳児が琵琶湖をテーマに環境や生物の調査を行っている。博物館の人と200Mでのやり取りをしたり、今日は出かけてみようか等、色々な事を採り入れ楽しんでいる。老人ホームを訪問し、日頃楽しんでいる歌を披露したりしてふれあい遊びで交流していたが、コロナ禍で中止となっている。収束後には継続を予定しており、是非再開を実現してほしい。		☑	ウ 遊びの中で、進んで身体を動かすことができるよう援助している。
			☑	エ 戸外で遊ぶ時間や環境を確保している。
			☑	オ 生活と遊びを通して、友だちなどと人間関係が育まれるよう援助している。
			☑	カ 子どもたちが友だちと協同して活動できるよう援助している。
			☑	キ 社会的ルールや態度を身につけていくよう配慮している。
			☑	ク 身近な自然とふれあうことができるよう工夫している。
			☑	ケ 地域の人たちに接する機会、社会体験が得られる機会を設けている。
			☑	コ 様々な表現活動が自由に体験できるよう工夫している。

6	乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に ⑤ 展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	☑	ア	0歳児が、長時間過ごすことに適した生活と遊び及び環境への工夫がされている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ	0歳児が、安心して、保育士等と愛着関係(情緒の安定)が持てるよう配慮している。
	育児担当保育を採り入れ愛着関係を築いている。人見知りし大泣きしている子が担当保育士の顔を見ると「ニコッ」満面の笑みを浮かべ両手を広げ前のめりになりながらよちよち歩きで、胸に飛び込み顔をうずめて甘えている。連絡帳や送迎時の会話で、自宅での様子、園での様子を伝えるようにしているが、コロナ禍でもあり、特に朝は時間のない方が多く、迎え時に出来るだけ話す様になっている。園で遊んだ玩具の現物を見せたり、新しい発見とかを伝え合い、意識してコミュニケーションを図っている。		☑	ウ	子どもの表情を大切に、応答的な関わりをしている。
			☑	エ	0歳児が、興味と関心を持つことができる生活と遊びへの配慮がされている。
			☑	オ	0歳児の発達過程に応じて、必要な保育を行っている。
			☑	カ	0歳児の生活と遊びに配慮し、家庭との連携を密にしている。
7	3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	☑	ア	一人ひとりの子どもの状況に応じ、子どもが自分でしようとする気持ちを尊重している。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ	探索活動が十分に行えるような環境を整備している。
	乳児組は各クラスの子どもの発達の様子や興味、関心、家庭からの情報等クラス会議で検討し環境を整備している。棚や衝立で仕切り、「遊ぶ・食べる・寝る」事が並行して進められる様に、一人ひとりの生活リズムを大切にしている。散歩から帰ってきた2歳児に、保育士がジャンパーの畳み方を教え、子ども達は真剣に見つめそれぞれ挑戦している。「出来ない時は先生に手伝ってって言ってね」「できたー」と見せに来る子「一回言うただけやのに上手にできたね」「出来ない」とそのまま渡す子に、「こうしてね」と袖だけ畳んで見せ促すと続きを畳んでいる。「できたねー」と言われ、ニコッと嬉しそうにうなずいている。		☑	ウ	子どもが安心して遊びを中心とした自発的な活動ができるよう、保育士等が関わっている。
			☑	エ	子どもの自我の育ちを受け止め、保育士等が適切な関わりをしている。
			☑	オ	保育士等が、友だちとの関わりを仲立ちをしている。
			☑	カ	様々な年齢の子どもや、保育士以外の大人との関わりを図っている。
			☑	キ	一人ひとりの子どもの状況に応じ、家庭と連携した取組や配慮がされている。
8	3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	☑	ア	3歳児の保育に関して、集団の中で安定しながら、遊びを中心とした興味関心のある活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ	4歳児の保育に関して、集団の中で自分の力を発揮しながら、友だちとともに楽しみながら遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
	子どもの自主性を育むためにコーナ保育を取り入れ、興味を持ってやりたい事に取り組み、自信につながる保育をしている。体操あそび・英語・5歳児の茶道と、経験を通して個の力を伸ばしながら、友だちとの関わりを楽しむ保育に努めている。		☑	ウ	5歳児の保育に関して、集団の中で一人ひとりの子どもの個性が活かされ、友だちと協力して一つのことをやり遂げるといった遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
			☑	エ	子どもの育ちや取り組んできた協同的な活動等について、保護者や地域・就学先の小学校等に伝える工夫や配慮がされている。
9	障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	☑	ア	建物・設備など、障害に応じた環境整備に配慮している。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ	障害のある子どもの状況に配慮した個別の指導計画を作成し、クラス等の指導計画と関連づけている。
	数名の障がい児を受け入れ、バリアフリーの保育室・廊下・動線に支障はなく、子どもの状況や両親の思いを配慮した個別指導計画を作成している。クラスの友達と一緒に楽しむを前提に、一人遊びがないよう他の子どもたちから誘い、一緒にやろうと発信していく保育をしている。保育士はどの子どもにも同じ対応を心掛け、配慮が必要な子、必要でない子も互いが思いやる心を育てている。東部子ども療育センター(のびのび教育)、大津市幼児政策課「巡回訪問」など関係機関を利用し、保護者とは情報を共有し連携に配慮している。コロナ禍で3,4,5歳児一時間ずつに配慮した「運動を楽しむ日」に事前訪問し、その中で、配慮を要する子の個人種目では、他の子ども達・保護者・先生の応援を受け、最後までやり遂げ、保育士・クラス友達と共に楽しんでいる姿がうかがえた。		☑	ウ	計画に基づき、子どもの状況と成長に応じた保育を行っている。
			☑	エ	子ども同士の関わりに配慮し、共に成長できるようにしている。
			☑	オ	保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。
			☑	カ	必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。
			☑	キ	職員は、障害のある子どもの保育について研修等により必要は知識や情報を得ている。
			☑	ク	保育所の保護者に、障害のある子どもの保育に関する適切な情報を伝えるための取組を行っている。
10	長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	☑	ア	1日の生活を見通して、その連続性に配慮し、子ども主体の計画性をもった取組となっている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ	家庭的でゆったりと過ごすことができる環境を整えている。
	保育士の勤務シフトが確立し、7:00からの早朝、18:00から19:00までの延長保育を行い、希望のある場合は19:00以降も対応している。延長保育の利用園児は1日平均10人前後で、1,2歳児室で、好きな玩具や絵本を見て、異年齢でゆったりと過ごし迎えを待っている。18:30に補食程度のおやつを提供している。保護者への必要な伝達事項はクラス連絡帳に青字で漏れがないようにし、口頭でも伝達し引継ぎを行っている。連絡帳の裏に「緊急連絡網」を記載し、どの移動時にも活用できる体制にしている。コロナ禍で保護者とは送迎時玄関対応となっているが、一人ひとり丁寧な対応を心掛け話すようにしている。		☑	ウ	子どもの状況に応じて、おだやかに過ごせるよう配慮している。
			☑	エ	年齢の異なる子どもと一緒に過ごすことに配慮している。
			☑	オ	保育時間の長い子どもに配慮した食事・おやつ等の提供を行っている。
			☑	カ	子どもの状況について、保育士間の引継ぎを適切に行っている。
			☑	キ	担当の保育士と保護者との連携が十分にとれるように配慮している。

11	⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している	b	☑	ア	計画の中に小学校との連携や就学に関連する事項が記載され、それに基づいた保育が行われている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ	子どもが、小学校以降の生活について見通しを持てる機会が設けられている。
	コロナ禍により瀬田北小学校との5.5交流会は中止となっているが、園と小学校間の就学に向けた意見交換、情報提供を行い連携を図っている。子どもたちも就学に向けて時計を見る事や給食時間などに取り組んでいる。コロナ禍に有っても保護者や子どもたちが小学校以降の生活に安心感、楽しみが持てるような更なる取り組みを期待したい。		☑	ウ	保護者が、小学校以降の子どもの生活について見通しを持てる機会が設けられている。
			☑	エ	保育士等と小学校教員との意見交換、合同研修を行うなど、就学に向けた小学校との連携を図っている。
			☑	オ	施設長の責任のもとに関係する職員が参画し、保育所児童保育要録を作成している。
A-1-(3) 健康管理		評価結果	☑	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)	
12	① 子どもの健康管理を適切に行っている。	b	☑	ア	子どもの健康管理に関するマニュアルがあり、それに基づき一人ひとりの子どもの心身の健康状態を把握している。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ	子どもの体調悪化・けがなどについては、保護者に伝えるとともに、事後の確認をしている。
	保健年間計画を策定して、健康診断(内科年2回・歯科年1回)身体計測等子どもの健康管理を行っている。看護師が毎朝各クラスを回って連絡ノートや担任から様子を聞いて子どもの健康を把握している。体調不良や怪我をした場合は、保護者に連絡し担任保育者、看護師、園長、主任等で協議の上受診等判断する体制を敷いている。職員に対して感染症、アレルギー、救命救急に関する勉強会を行い意識や知識の向上を図っている。救急の日(9月9日)には救急物品の見直し、AEDのチェックを行い整備している。三歳児までは午睡を行っておりSIDSのチェック表を用いて睡眠状態を確認している。体調不良時、医務室で横になれるスペースの確保を望みたい。		☑	ウ	子どもの保健に関する計画を作成している。
			☑	エ	一人ひとりの子どもの健康状態に関する情報を、関係職員に周知・共有している。
			☑	オ	既往症や予防接種の状況など、保護者から子どもの健康に関わる必要な情報が常に得られるように努めている。
			☑	カ	保護者に対し、保育所の子どもに関する方針や取組を伝えている。
			☑	キ	職員に乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する知識を周知し、必要な取組を行っている。
			☑	ク	保護者に対し、乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する必要な情報提供をしている。
13	健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a	☑	ア	健康診断・歯科健診の結果が記録され、関係職員に周知されている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ	健康診断・歯科健診の結果を保健に関する計画等に反映させ、保育が行われている。
	結果は「けんこうきろく」に記載して保護者に報告している。歯科検診後歯磨きの指導等保育に生かしている。		☑	ウ	家庭での生活に生かされるよう保育に有効に反映されるよう、健康診断・歯科健診の結果を保護者に伝えている。
14	③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている	b	☑	ア	アレルギー疾患のある子どもに対して、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」をもとに、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ	慢性疾患等のある子どもに対して、医師の指示のもと、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。
	アレルギーに関しては厚生労働省から明示されている「生活管理指導表」に基づいて対応している。入園時アレルギー等健康状態を把握している。除去食の対応は医師の診断書をもとに栄養士、担当保育者、看護師でチェック調整、献立表を保護者が確認して同意を得ている。食事時はトレーの色を変えた子どもの顔写真付きトレーを使用して別のテーブルで喫食している。エピペンの使用方法について看護師の指導のもと勉強している。誤食の防止に努め事故につながらないように取り組んでほしい。		☑	ウ	保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。
			☑	エ	食事の提供等において、他の子どもたちとの相違に配慮している。
			☑	オ	職員は、アレルギー疾患、慢性疾患等について研修等により必要は知識・情報を得たり、技術を習得している。
			☑	カ	他の子どもや保護者にアレルギー疾患、慢性疾患等についての理解を図るための取組を行っている。
A-1-(4) 食事		評価結果	☑	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)	
15	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a	☑	ア	食に関する豊かな経験ができるよう、保育の計画に位置づけ取組を行っている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ	子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれる環境・雰囲気づくりの工夫をしている。
	食育年間計画を立て、子どもたちには「食べ物の力」について3色の食品、赤の主菜・緑の野菜・黄の主食を食育ボードを使い説明し、興味・関心を深める取組を行っている。遊びと食事スペースに別け、子ども一人ひとりの喫食状況を把握し、保育士がゴム手袋をして盛り付け配膳をしている。お腹が空いた子から席を決めず順次食事が出来る様にランチルーム形式をとっている。「先生お代わり」があちこちで聞こえ、きれいに食べた後は食器を片づけ、1,2歳児はエプロンや口ふきタオル、以上児はランチョンマットやコップを巾着袋に片づけている。毎月献立表を保護者に配布、喫食状況を送迎時に連絡帳やアプリで知らせている。		☑	ウ	子どもの発達に合わせた食事の援助を適切に行っている。
			☑	エ	食器の材質や形などに配慮している。
			☑	オ	個人差や食欲に応じて、量を加減できるように工夫している。
			☑	カ	食べたいもの、食べられるものが少しでも多くなるよう援助している。
			☑	キ	子どもが、食について関心を深めるための取組を行っている。
			☑	ク	子どもの食生活や食育に関する取組について、家庭と連携している。

16	② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a	☑	ア	一人ひとりの子どもの発育状況や体調等を考慮した、献立・調理の工夫をしている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ	子どもの食べる量や好き嫌いなどを把握している。
	毎月の給食会議で子どもの発育状況や体調を考慮し、栄養とバランスを考えたメニューを提供している。当園はアレルギーに配慮し、玉子・ごまを除去した調理をしている。子どもたちが育てた季節の野菜を献立に取り入れるなど食べる意欲につなげている。七草がゆ・ひな祭り・七夕など各月の行事食から日本の文化に触れ、散歩の帰りなどにリクエストメニューを聴き、「和え物」など洗い応えが返っている。検査は園長・主任が行い、衛生管理チェックリスト・管理点検表において適切に衛生管理を行っている。		☑	ウ	残食の調査記録や検査簿をまとめ、献立・調理の工夫に反映している。
			☑	エ	季節感のある献立となるよう配慮している。
			☑	オ	地域の食文化や行事食などを取り入れている。
			☑	カ	調理員・栄養士等が、食事の様子を見たり、子どもたちの話を聞いたりする機会を設けている。
			☑	キ	衛生管理の体制を確立し、マニュアルにもとづき衛生管理が適切に行われている。

A-2 子育て支援

A-2-(1) 家庭との緊密な連携		評価結果	☑	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)	
17	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	b	☑	ア	連絡帳等により家庭との日常的な情報交換を行っている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ	保育の意図や保育内容について、保護者の理解を得る機会を設けている。
	連絡帳や送迎時の機会を利用し、3歳児は一昨年のも有り、家庭で帳面を用意し相互に相談や伝えたい事を共有している。クラス懇談会は中止しているが希望する保護者には個別懇談や話を聞く機会を持っている。更なる連携の工夫を望みたい。		☑	ウ	様々な機会を活用して、保護者と子どもの成長を共有できるよう支援をしている。
			☑	エ	家庭の状況、保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録している。
A-2-(2) 保護者等の支援		評価結果	☑	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)	
18	① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a	☑	ア	日々のコミュニケーションにより、保護者との信頼関係を築くよう取組を行っている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ	保護者等からの相談に応じる体制がある。
	連絡帳に家庭での状況、園での様子が記載され、共に成長を共有し喜びコメントがある。		☑	ウ	保護者の就労等の個々の事情に配慮して、相談に応じられるよう取組を行っている。
	気になる子に関しては、送迎時に子や保護者の様子を観察し必要と感じた時は声を掛けゆっくり関わられる配慮をしている。出来る事やアドバイス等伝え支援している。悩んだ時は園長や主任に助言が得られる体制である。毎月の職員会議で子どもの状況や保護者の思いなど伝え共有している。		☑	エ	保育所の特性を生かした保護者への支援を行っている。
	行事後のアンケートで、行事時の車の出入りの事や見学し易い配慮が欲しいとの相談があり対応した事がある。		☑	オ	相談内容を適切に記録している。
			☑	カ	相談を受けた保育士等が適切に対応できるよう、助言が受けられる体制を整えている。
19	② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	b	☑	ア	虐待等権利侵害の兆候を見逃さないように、子どもの心身の状態、家庭での養育の状況について把握に努めている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ	虐待等権利侵害の可能性がある職員が感じた場合は、速やかに保育所内で情報を共有し、対応を協議する体制がある。
	虐待対応マニュアルを整備し、気にかかる子については登園時一人ひとり玄関対応で、保護者の様子や子どもの表情に変化がないか確認し、日々の様子を見守りながら、職員間で情報の共有に努めている。行政や保健所等の関係機関と連携し、早期発見・防止に努めている。児童虐待防止職員研修に参加し、職員会議で報告し全職員に共通認識を図っている。		☑	ウ	虐待等権利侵害となる恐れがある場合には、予防的に保護者の精神面、生活面の援助をしている。
	コロナ禍において社会が様変わりし、困難ケースが増加している昨今、これまで以上に子どもの見守りを期待したい。		☑	エ	職員に対して、虐待等権利侵害が疑われる子どもの状態や行動などをはじめ、虐待等権利侵害に関する理解を促すための取組を行っている。
			☑	オ	児童相談所等の関係機関との連携を図るための取組を行っている。
			☑	カ	虐待等権利侵害を発見した場合の対応等についてマニュアルを整備している。
			☑	キ	マニュアルにもとづき職員研修を実施している。

A-3 保育の質の向上

A-3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)		評価結果	☑	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)	
20	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い保育実践の改善や専門性の向上に努めている	b	☑	ア	保育士等が、記録や職員間の話し合い等を通じて、主体的に自らの保育実践の振り返り(自己評価)を行っている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ	自己評価にあたっては、子どもの活動やその結果だけでなく、子どもの心の育ち、意欲や取り組む過程に配慮している。
	乳児会議、幼児会議を通して保育の計画を作成し、職場、クラス単位で毎週、検討討論を行っている。		☑	ウ	保育士等の自己評価を、定期的に行っている。
	環境スケールや目標シートを通して、職員の保育技能のレベルの平準化を進めて欲しい。		☑	エ	保育士等の自己評価が、互いの学び合いや意識の向上につながっている。
	保育士間でも切磋琢磨して優れているところは伸ばしサービス向上を望みたい。		☑	オ	保育士等の自己評価にもとづき、保育の改善や専門性の向上に取り組んでいる。
			☑	カ	保育士等の自己評価を、保育所全体の保育実践の自己評価につなげている。